



筑波大学 大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群
知能機能システム学位プログラム

Master's and Doctoral Programs in Intelligent and Mechanical Interaction Systems,
Degree Programs in Systems and Information Engineering,
Graduate School of Science and Technology, University of Tsukuba

IMAGINE
THE
FUTURE

Research at IMIS



System Design
システムデザイン



Human, Mechanics, and Robot System
人間・機械・ロボットシステム



Measurement and Control Engineering
計測・制御工学



Communication System
コミュニケーションシステム

www.imis.tsukuba.ac.jp

2021-2022



○ 学位プログラムへの誘い

知能機能システムとは、人・社会・自然界における複雑な現象を表す数理モデルや、数学・物理学・情報学などの理論に基づいて構成され、さまざまな機能をもつ要素が連携協調して実社会に貢献する工学システムです。本学位プログラムでは、人々が安心して安全にしかも快適で豊かな暮らしを送るために必要な工学システムを創り出すこと、また時代のニーズに即した最先端の研究開発に果敢に取り組むことができる人材を育てることを目指しています。その特徴は以下の2点です。

一つは学際性です。当学位プログラムにおける研究分野は、人間・コンピュータ・機械・センサ・通信の多分野にわたっています。また、医学・体育・芸術など異分野との共同研究も盛んです。本学位プログラムの教員は、これらの分野において常に最先端の研究を行なっています。

もう一つは充実した教育体制です。当学位プログラムには学外からも多くの学生が入学し、出身学部・学科も多岐にわたっています。こうした多様な学生に対して、研究に必要な基礎的な知識と研究開発能力が身につくようにカリキュラムが整備されており、また複数の教員による丁寧な研究指導が行われるようになっています。

この恵まれた環境で学び、一緒に世界に先駆けた最先端の研究をしてみませんか。

知能機能システム学位
プログラムリーダー
中内 靖



○ 人材養成目的

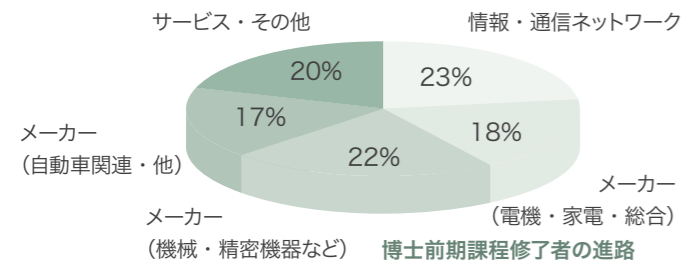
修士(工学) Master of Engineering

工学分野の基礎知識と理論観を備え備えとともに、知能機能システムに関する専門知識と技術、研究能力を身に付け、広い視野に立つて問題を発見し解決できる高専門職人を養成します。

○ 修了後の進路

知能機能システム学位プログラムを修了した学生は、様々な分野の企業や研究所などで活躍しております。

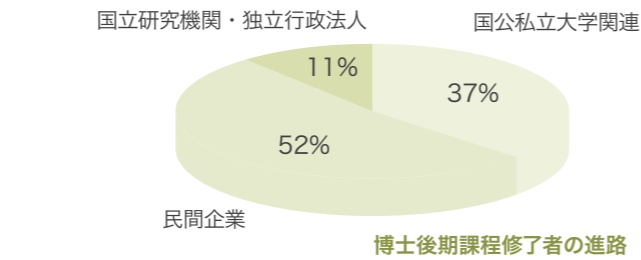
以下は、旧課程（知能機能システム専攻）における実績です。



博士前期課程修了後の就職先の主な分野は、情報・通信ネットワーク (DeNA, NTT, NTTコミュニケーションズ, ソフトバンク, 楽天, NTT データ, NTT ドコモ, 任天堂, KDDI, ヤフーなど)、メーカー (電機・家電・総合; 日立製作所, ソニー, パナソニック, 三菱電機, 富士通など)、メーカー (機械・精密機器など; オリパス, リコー, キヤノン, 京セラ, コマツ, 三菱重工業, ヤマハ, シチズン, カシオ, マチモーターなど)、メーカー (自動車関連・他; デンソー, トヨタ, 本田技研, 日産, 豊田自動織機, マツダ, SUBARU, アイシン精機, ダイハツなど)、サービス・その他 (JR 東日本, 東京電力, 新日鐵住金など) です。(2016-2017 年度の修了者)

博士(工学) Doctor of Philosophy in Engineering

工学分野の幅広い知識と倫理観、知能機能システムに関する高度な専門知識と技術、独創的な研究力を備えとともに、広い視野に立つて重要な問題を発見し解決できる研究者または高度研究職人を養成します。



博士後期課程を修了した学生は、国公立大学関連 (筑波大学、電気通信大学、茨城大学、東京海洋大学、首都大学東京、豊橋技術科学大学、名城大学、豊田工業大学、千葉工業大学、岐阜高専、University of Verona, Max Planck Institute, University Malaysia Pahang など)、民間企業 (富士通研究所, NTT 研究所, 三菱電機, 島津製作所, スクウェア・エニックス, 放送衛星システム, 東芝メディカルシステムズ, CYBERDYNE など)、国立研究機関・独立行政法人 (産業技術総合研究所, 国立スポーツ科学センターなど) で活躍しています。(2015-2017 年度の修了者)

○ 主な施設



専門分野と主なテーマ

大学院システム情報工学研究群	知能機能システム学位P	専門分野	専門分野で提供される研究テーマ
		システムデザイン	ソフトコンピューティング、機械学習、知能情報学、情報工学、システム工学、感性情報処理、生体情報処理、離散数理
		人間・機械・ロボットシステム	バーチャルリアリティ、知能ロボティクス、サイバニクス、ヒューマン・ロボット・インタラクション、マニピュレーション
		計測・制御工学	デジタル制御、知的制御、制御工学、ファジィ工学、音響工学、生体計測システム、非線形力学システム
		コミュニケーションシステム	コンピュータビジョン、自然言語処理、パターン認識・理解、情報理論、超音波・音響システム、3次元ディスプレイ、エンタテインメントコンピューティング、通信工学
		エンパワーメント情報学プログラム	人間情報学、バーチャルリアリティ、人間機械共生系、サイバニクス、認知心理学、ビジネス科学、芸術・デザイン学、感性情報学、臨床医学、リハビリテーション看護学

○ 大学院教育の実質化と教育プログラムの特徴

学生に対する体系的な教育を提供する場として、教育の課程を修了した者に特定の学位を与える課程制大学院制度の趣旨に沿った教育の組織的展開の強化が求められています。本プログラムでは、次に示す施策によって大学院教育の実質化を図っています。

1. 博士前期課程と後期課程の接続強化

本プログラムは、博士前期課程と後期課程に区分するものの、他に例をみない5年間一貫した教育カリキュラムを整備しています。さらに学部に対応する工学システム学類の知的・機能工学システム主専攻と協力して、時代のニーズに合った技術者・研究者を育成するための、実質6年間(学部+修士)または9年間(学部+修士+博士)の一貫した教育プログラムを提供しています。博士前期課程または後期課程から入学した場合も、リメディアル教育を含む数学系基礎科目や特別実験等を履修することによって、同等の教育を受けることが可能です。

2. コンピテンス・ポイントに基づく達成度評価

学位授与時に学生が備えているべき知識・能力(コンピテンス)を確実に修得できるよう、コンピテンス・ポイントに基づく達成度評価システムを導入しています。達成度評価シートを用いて、学生自らが、どのコンピテンスが不足しているか、それを補うためにどの科目を履修すればよいかを自己点検し、計画的な科目履修を行えるようにしています。また、学会発表経験やTOEICの得点なども評価されるため、既にある程度の知識・能力を備えている社会人学生などの場合、不足しているコンピテンスを重点的に学ぶことができます。

3. 研究力育成を重視したカリキュラム編成 (※内ページ参照)

各分野の専門知識を学ぶ専門科目のほかに、研究能力を高めるための共通科目としてコアスタディ・数学系基礎科目・ツール演習科目・英語演習・コラボラトリ演習・特別演習科目群が用意されています。

4. 複数指導教員制度

本プログラムでは、大学院生1名に対して、1名の主指導教員と2名の副指導教員が就く複数指導体制がとられています。学生は、自身の研究室だけでなく、副指導教員のゼミに参加することができ、大学院セミナーの際にも副指導教員より指導を受けます。このように複数の教員から多様で異なった観点からのアドバイスを受けることによって、自身の研究内容への理解が深まり、プレゼンテーション力の向上も図られます。教員と大学院生の距離の近さも、本プログラムの特徴の一つです。

5. 大学院セミナーの実施

せっかくの研究成果も、上手に発表しないと他の人には理解してもらえません。また、人の話を聞く立場になったときには、理解を深め自分に必要な情報を得るためにどう質問をすればよいか、という質問力も研究者・技術者には大切です。本プログラムでは、学生が自分の研究内容を発表し、その発表に対して質疑応答を行うという演習形式の講義を行っています。専門分野の枠を超えて、毎週、活発な議論が繰り返されています。発表者には、聴講する学生が感じた率直な意見がフィードバックされるようになっています。さらに秋学期末には、ポスター形式の発表会を実施しています。企業の方も多数来場されることから、一種の就活イベントとしても機能しています。

6. 連携大学院制度

つくば市には、筑波大学以外にも様々な研究機関があり、交流が盛んに行われています。本プログラムでは、(国研)産業技術総合研究所に所属する教員(連携大学院教員)に研究指導を受けて、学位を取得することができます。

7. デュアルディグリープログラムの実施 (※内ページ参照)

本プログラムでは、主学位プログラムである博士後期課程に在学しながら副学位プログラムとして他研究群・他学位プログラムの博士前期課程・修士課程・専門職学位課程にも在学し、博士(工学)の他に他学位プログラムに対応する修士号を取得するDDPを実施しています

8. 早期修了の積極的な推進 (※内ページ参照)

8.1 社会人のための博士後期課程早期修了プログラム

8.2 一般学生の早期修了

9. 社会人学生への配慮

後期課程の場合、特別研究科目や論文発表演習科目など、主に指導教員から指導を受ける科目の履修だけで修了できます。そのため、研究業績のある社会人学生は、遠隔会議システム等を利用することにより、大学に来る負担を低減することができます。また、前期課程においても、研究活動を単位化した科目を多数修得することにより、大学に来る負担を低減することができます。

10. 学生表彰

顕著な成果をあげた学生は、学長表彰・研究群長表彰候補者に推薦されます。また本プログラムによる優秀修士論文賞・学位プログラムリーダー表彰が授与されます。受賞者は、日本学生支援機構第一種奨学金の返還免除対象者になる可能性が非常に高くなります。

〇 研究力育成を重視したカリキュラム

知能機能システム学位プログラムでは、単に専門知識や技術を学ぶだけではなく、それらを活用して研究する力を育成することに重点を置いています。2017年度からはカリキュラムを再編し、演習や実践的な授業、研究を通じた能動的な学習を促す科目を充実させました。一方で座学中心の専門科目については、分野(システムデザイン、人間・機械・ロボット、計測・制御工学、コミュニケーションシステム)ごとに統合や内容の見直しを行うことによって、授業密度をより高めています。

<博士前期課程>

- コアスタディ:研究者倫理、研究計画の立案、論文の書き方、発表の仕方など、研究を行う上での基本的な知識や作法について学びます。
- 数学系基礎科目群:学部レベルの数学の復習から始めて、専門科目の学習や研究に必要な基礎的な数理を学びます。
- ツール演習科目群:研究上の必要性や有用性の高いソフトウェアおよびハードウェアのツールについて、使い方や関連技術を実践的に学びます。
- 特別実験:数名でチームを組み、それまでに学んだ知識や技術などを用いて、テーマ演習やプロジェクト実習を行います。
- 英語演習:TOEICに対応したe-learningによって英語力の向上を図ります。(一定以上の英語力があれば、外国人教員による後期課程向けの授業も受講可能)
- 特別演習群:大学院セミナーのほか、学会での研究発表や学術雑誌へ論文投稿を行うことによって単位を取得できる演習科目や、他分野のゼミ参加や他研究室との共同研究を行う演習科目、研究計画調書を作成する演習科目があり、研究活動を通じて幅広い知識や技能の習得を促しています。
- 特別研究:1年次のポスター発表会、2年次の修士論文提出・発表に向けて各自の研究を実施する科目です。

<博士後期課程>

- 英語演習:外国人教員による少人数授業により、プレゼンテーションスキル、ライティングスキル、ビジネスコミュニケーションスキルを高める科目です。
- 特別演習群:国際会議発表演習、雑誌論文発表演習、計画調書作成演習のほか、他研究室へのゼミ参加や共同研究を行う演習科目があります。
- 特別研究:博士論文の作成に向けて各自の研究を進める科目です。

〇 早期修了等の柔軟な履修・修了年次

社会人のための早期修了プログラム(博士後期課程)

博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得できるプログラムを実施しています。一定の研究業績を有する社会人が、最短1年間で課程博士の学位が取得できるよう、論文の作成指導等に関して、効率的に体系化されたコースワークにもとづく早期修了プログラムを導入しております。ここでは、入学時、中間審査(入学後4ヶ月以内)及び予備審査(入学後8ヶ月以内)等の3ステージ以上において、課程博士の学位に相応しいレベルに達しているかを評価する達成度評価システムを確立しており、我が国の次代を担うべき優秀な研究者や高度専門職業人をサポートしています。

一般学生の早期修了(博士前期・後期課程)

博士前期課程において特に秀でた研究成果をあげ、かつ優秀な成績をもって修了要件を満たした学生に対して、博士後期課程へ進学する場合に限り、1年間短縮しての早期修了を実施しています。この場合、通常の博士前期課程と同一の修了要件となります。博士後期課程においても優れた研究業績があれば、1年以上の在籍で早期修了することが可能です。なお、博士前期課程を1年で早期修了し、博士後期課程でも早期修了する場合は、2年以上の在籍が必要となります。

長期履修について(博士前期・後期課程)

長期履修に伴う授業料納付額も含め、履修年次の長期化に柔軟に対応する制度を設けています。詳しくは、担当者までお問い合わせ下さい。

〇 エンパワメント情報学プログラム

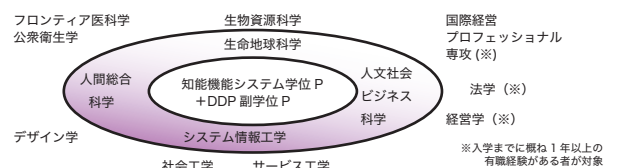
知能機能システム学位プログラムとの関係が深いエンパワメント情報学プログラム(一貫制博士課程)では、安全性、利便性、心の豊かさの向上など、様々な観点から人の生活の質を向上させる工学システムを創出するために、人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学の未来を開拓しています。企業・病院・海外拠点の参画を得つつ、工学・芸術・ビジネス科学・臨床医学など、専門分野の枠を超えた研究も盛んです。詳しくは、エンパワメント情報学プログラムWebページ(www.emp.tsukuba.ac.jp)を参照してください。

〇 デュアルディグリープログラム(DDP)

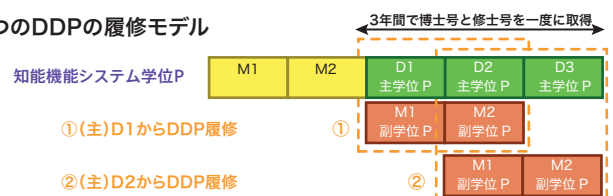
知能機能システム学位プログラム(博士後期課程)に在学しながら理工学分野以外の「副」となる学位プログラムまたは専攻(博士前期課程、修士課程または専門職学位課程)にも在学することで、博士(工学)の他に他分野の修士号を一度に取得できる制度です。

2021年度現在、9つの副学位プログラム(または副専攻)が履修可能です。知能機能システム学位プログラム(その前身である知能機能システム専攻も含む)ではこれまでに、2013年度に3名、2014年度に4名、2015年度に1名、2016~2018年度に2名、2019年度に1名および2021年度に1名がDDPを履修しています。入学科とDDP履修中の授業料は主学位プログラムの分のみしかかかりません。詳しくは、知能機能システム学位プログラムのWEBページをご覧ください。

DDP副学位プログラム群(2021年度現在)



二つのDDPの履修モデル








〇 エンパワメント情報学プログラム

知能機能システム学位プログラムとの関係が深いエンパワメント情報学プログラム(一貫制博士課程)では、安全性、利便性、心の豊かさの向上など、様々な観点から人の生活の質を向上させる工学システムを創出するために、人の機能を補完し、人とともに協調し、人の機能を拡張する情報学の未来を開拓しています。企業・病院・海外拠点の参画を得つつ、工学・芸術・ビジネス科学・臨床医学など、専門分野の枠を超えた研究も盛んです。詳しくは、エンパワメント情報学プログラムWebページ(www.emp.tsukuba.ac.jp)を参照してください。

知能機能システム学位プログラム 教員・研究・授業科目

専門基礎科目
/ 専門科目群

System Design システムデザイン分野

 丸山 勉 Tsutomu Maruyama 教授 工学博士	 森田 昌彦 Masahiro Morita 教授 工学博士	 川崎 真弘 Masahiro Kawasaki 准教授 博士(工学)	 延原 肇 Hajime Nobuhara 准教授 博士(工学)	 長谷川 学 Manabu Hasegawa 准教授 工学博士	 河合 新 Shin Kawai 助教 博士(工学)	 澁谷 長史 Takeshi Shibuya 助教 博士(工学)	 新里 高行 Takayuki Niizato 助教 博士(工学)	 廣川 暢一 Masakazu Hirokawa 助教 博士(工学)
リコンフィギュラブルコンピュータシステム	生体情報処理、知的情報処理	脳コミュニケーション、脳科学、認知科学	計算知能、UAV、ウェブインテリジェンス	システム工学、計算物理学	制御理論、離散時間化、デスクリプタシステム	機械知能、人工知能、機械学習、強化学習	群れなどの集団現象、学習・創発	人工知能、人間機械協調、発達支援ロボティクス







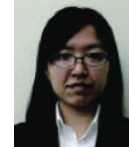


開設科目: 知能機能システム特別研究I、II、A、B、C、知能機能システムセミナーI、II、知能機能システムコアスタディ、知能機能システム研究発表演習Ia、Ib、IIa、IIb、知能機能システム計画調書作成演習I、II、III、IV、知能機能システム論文投稿演習、知能機能システムコラボラトリー演習Ia、Ib、IIa、IIb、III、IV、知能機能システム数学基礎、知能システム理論基礎、機能システム数理基礎、知能機能システムデータ解析演習、知能システムツール演習a、b、機能システムツール演習、知能システム特別実験a、b、機能システム特別実験、知能機能システムTOEIC 演習I、II、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I、II、知能機能システム国際会議論文発表演習

Human, Mechanics, and Robot System 人間・機械・ロボットシステム分野

 相山 康道 Yasumichi Aiyama 教授 博士(工学)	 岩田 洋夫 Hiroo Iwata 教授 工学博士	 黒田 嘉宏 Yoshihiro Kuroda 教授 博士(情報学)	 山海 嘉之 Yoshiyuki Sankai 教授 工学博士	 鈴木 健嗣 Kenji Suzuki 教授 博士(工学)	 坪内 孝司 Takashi Tsubouchi 教授 工学博士	 中内 靖 Yasushi Nakauchi 教授 博士(工学)	 星野 聖 Kiyoshi Hoshino 教授 博士(医学)、博士(工学)	 望山 洋 Hiromi Mochiyama 教授 博士(情報科学)
器用なロボットマニピュレーションとその産業応用	バーチャルリアリティ、ハプティクス	生体システム工学、医用人工知能	サイバニクス: 人・ロボット・情報系の融合複合	人工知能、拡張生体技術、人支援技術	知能ロボット、自律移動ロボット、自己位置推定	ヒューマン・ロボット・インタラクション、空間知能化	医用生体工学、生体計測、数理モデル	柔軟ロボット学、ハプティクス
 矢野 博明 Hiroaki Yano 教授 博士(工学)	 井澤 淳 Jun Izawa 准教授 博士(工学)	 河本 浩明 Hiroaki Kawamoto 准教授 博士(工学)	 田中 文英 Fumihide Tanaka 准教授 博士(工学)	 大澤 博隆 Hirotaaka Osawa 助教 博士(工学)	 善甫 啓一 Keiichi Zempo 助教 博士(工学)	 橋本 悠希 Yuki Hashimoto 助教 博士(工学)	 蜂須 拓 Taku Hachisu 助教 博士(工学)	 Sandra Puentes フェンテス・サンドラ 助教 Ph.D.(医学)
バーチャルリアリティ、医療・福祉工学	計算論的神経科学、生体運動学習機構、意思決定機構	サイバニクス、人間・機械一体化	ソーシャルロボティクス	ヒューマンエージェントインタラクション、社会的知能	知覚拡張システム、感覚代行障害支援、人間拡張工学	触覚工学、触覚インタフェース、運動・行動誘導	触覚、身体接触、ウェアラブルデバイス	脳卒中、サイバニクス、運動機能障害

開設科目: サイバニクス、ロボット制御論、生体情報処理特論、バーチャルリアリティ、ユーザビリティテスト、自律移動ロボット学、錯覚とインタフェース、ソーシャルロボティクス、知覚拡張工学、ヒューマンエージェントインタラクション

Measurement and Control Engineering 計測・制御工学分野

 藪野 浩司 Hiroshi Yabuno 教授 工学博士	 境野 翔 Sho Sakaino 准教授 博士(工学)	 伊達 央 Hisashi Date 准教授 博士(工学)	 若槻 尚斗 Naoto Wakatsuki 准教授 博士(工学)	 Triet Nguyen-Van 助教 博士(工学)	 高谷 剛志 Tsuoyoshi Takatani 助教 博士(工学)	 前田 祐佳 Yuka Maeda 助教 博士(工学)	 山口 友之 Tomoyuki Yamaguchi 助教 博士(工学)	 Modar Hassan ハサン・モダル 助教 博士(工学)
機械システム、力学系理論、非線形現象	メカトロニクス、ハプティクス、マニピュレーション	非線形制御、ロボット制御 (自律移動、蛇型)	音響システム、音楽音響、数値シミュレーション	デジタル制御、グレン・ファン・チエトシステムの離散化、電力システム	計算撮像、グラフィクス、視覚質感アプリケーション	生体計測システム、在宅健康モニタリング	計測情報工学、マルチメディアセンシング	サイバー・フィジカルインターフェース、ウェアラブル技術

開設科目: 音響工学特論、デジタル制御特論、運動制御論、計測情報工学特論、生体計測工学、実世界指向センシング

Communication System コミュニケーションシステム分野

 宇津呂 武仁 Takehito Utsuro 教授 博士(工学)	 亀田 能成 Yoshinari Kameda 教授 博士(工学)	 北原 格 Itaru Kitahara 教授 博士(工学)	 古賀 弘樹 Hiroki Koga 教授 博士(工学)	 海老原 格 Tadashi Ebihara 准教授 博士(工学)	 掛谷 英紀 Hideki Kakeya 准教授 博士(工学)	 星野 准一 Junichi Hoshino 准教授 博士(情報科学)、博士(デザイン学)	 穴戸 英彦 Hidehiko Shishido 助教 博士(工学)
自然言語処理、人工知能、深層学習、ウェブ検索	画像情報、拡張現実、複合現実感、仮想現実	画像情報、コンピュータビジョン、映像メディア	情報理論、情報セキュリティ、情報ハイディング	通信システム、情報通信工学、船舶海洋工学	視覚メディア、メディア工学、3次元画像工学	エンタテインメントコンピューティング	コンピュータによる視覚認識、視覚メディア処理

開設科目: 情報・符号理論、通信基礎論、コンピュータビジョン、視覚システム論、コンテンツ工学、言語情報処理特論

Faculty of Cooperative Graduate School 連携大学院教員

 金広 文男 Fumio Kanehiro 教授(連携) 博士(工学)	 神村 明哉 Akiya Kamimura 教授(連携) 博士(工学)	 蔵田 武志 Takeshi Kurata 教授(連携) 博士(工学)	 後藤 真孝 Masataka Goto 教授(連携) 博士(工学)	 坂無 英徳 Hidenori Sakanashi 教授(連携) 博士(工学)	 松本 吉央 Yoshio Matsumoto 教授(連携) 博士(工学)
ヒューマノイドロボット、動作計画及び制御、ハードウェアデザイン	自律分散システム、フィールドロボット、知能化	サービス工学、複合現実、AR、測位、障害者支援	音楽情報処理、歌声情報処理、インタラクション	スマートシステム、診断支援システム、画像処理	サービスロボティクス、生活支援・介護支援
 村川 正宏 Masahiro Murakawa 教授(連携) 博士(工学)	 依田 育士 Ikushi Yoda 教授(連携) 博士(工学)	 佐川 立昌 Sagawa Ryusuke 准教授(連携) 博士(工学)	 濱崎 雅弘 Masahiro Hamasaki 准教授(連携) 博士(工学)		
スマートシステム、センサネットワーク	コンピュータビジョン、パターン認識	コンピュータビジョン、コンピュータシミュレーション、リアルタイムイメージング	オンラインコミュニケーションシステム、ソーシャルメディア		

○入学試験について

博士前期課程の入学試験は、7月期、8月期、2月期の3回行われます。7月期の推薦入試は、出身の大学や高専専攻科等に関わらず、推薦要件を満たせば受験できます。外国人留学生や連携大学院方式で入学希望の方も全試験区分で受験できます。さらに社会人を対象とした社会人特別選抜を8月期と2月期に実施しています。なお、全試験区分とも、本学工学システム学類以外からの受験者が不利にならないように、筆記試験は廃止しています。

博士後期課程の入学試験は、8月期と2月期の2回行われます。これまでの研究内容、および、今後の研究計画についての口述試験を行ないます。また、社会人を対象とした社会人特別選抜も同時に行います。さらに7月期には、内部進学希望者の中で特に優れた研究能力を持つ学生に対して、内部進学制度による選抜も実施しています。入学試験の詳細は、当該年度の募集要綱及び本学位プログラムのwebページの入試情報をご覧ください。

○アドミッションポリシーについて

学内、学外、社会人を問わず広く優秀な人材を求めることを基本方針としています。入学者の選抜にあたっては、推薦入学試験、一般入学試験、社会人特別選抜などの入学者選抜方式によって連携大学院や外国人留学生の区別なく多様な入学志願者に対応するとともに、募集定員を分割し同一年度内に複数回の入学試験を実施しています。

入学者の前所属分布

大学院生の半数は工学システム学類の知的工学システム専攻と機能工学システム専攻の卒業生ですが、本学他学類や本学以外の大学、高専専攻科出身者も多数学んでいます。後述のように社会人特別選抜や早期修了プログラムなど社会人の受け入れも積極的に行っています。また、筑波大学は、多くの国から留学生（国費/私費）を受け入れています。学位を取得する留学生の数も増加してきており、留学生のための語学研修や、個人チューターの制度も充実しています。

社会人の博士後期課程への入学について

本学位プログラムでは、博士の学位取得を考えている有職者の方々が、知能機能システム学位プログラムを受験しやすくすることを目的とした社会人入学枠を用意しています。博士後期課程の修了要件は、特別研究および論文発表演習関連科目合計12単位以上の取得と、指導教員による研究指導を受け、博士論文を提出して審査に合格することです。毎週決められた時間に出席する必要がある授業科目は取らなくても良く、在職のままでも努力すれば十分に修了できます。

また、優れた研究業績があれば1年以上の在籍で早期修了することも可能です。一方で、仕事や育児・介護などの兼ね合いでゆっくり研究を進めたい場合は、授業料総額はそのまま3年の修業年限を最大5年まで延長し教育課程を履修する長期履修制度も用意されています。詳しくは希望指導教員にお問い合わせください。

<博士前期課程> 求める人材：知能機能システム分野の学習および研究に必要な数学力と英語力、数理的な思考力があり、修士の学位にふさわしい研究力、専門知識、倫理観を身に付ける資質をもち、かつ知能機能システム分野の専門技術者や研究者を目指す人材

試験区分	7月期	8月期		2月期	
	推薦入学試験	一般入学試験	社会人特別選抜	一般入学試験	社会人特別選抜
評価項目	試験区分にかかわらず外国語(TOEICの公式認定証またはTOEFLの受験者用スコア票を提出) と口述試験必須				
	-	成績証明書	成績証明書	-	-
選抜方針	当学位プログラムを第一志望とし、成績が優秀で知能機能システム分野の研究に必要な能力が特に優れた者を選抜します。	数学・英語等の基礎学力が高く、志望理由が明確で研究計画の具体性や着想の点で優れている者を選抜します。	これまでの研究または社会的経験を評価に加え、可否の判定も一般入学試験とは独立に行うことによって、意欲と能力のある社会人、または社会的経験を有する者を積極的に受け入れます。	数学・英語等の基礎学力が高く、志望理由が明確で研究計画の具体性や着想の点で優れている者を卒業研究（またはそれに代わるもの）も評価して選抜します。	これまでの研究または社会的経験を評価に加え、可否の判定も一般入学試験とは独立に行うことによって、意欲と能力のある社会人、または社会的経験を有する者を積極的に受け入れます。
募集人員	41名	53名	2名	2名+若干名	2名+若干名
合計	100名				

<博士後期課程> 求める人材：知能機能システム分野の最先端の研究に必要な数学力と英語力、数理的な思考力があり、博士の学位にふさわしい研究力、専門知識、倫理観を身に付ける資質をもち、かつ知能機能システム分野における研究者または高度専門職業人として学術や社会の発展に貢献することを目指す人材

試験区分	7月期	8月期		2月期	
	内部進学制度	一般入学試験	社会人特別選抜	一般入学試験	社会人特別選抜
評価項目	試験区分に関わらず口述試験必須。内部進学制度・社会人以外は外国語(TOEICの公式認定証またはTOEFLの受験者用スコア票を提出) 必須				
選抜方針	知能機能システム学位プログラム博士前期課程修了予定者の中から、高い基礎力と研究力を備え、日本学術振興会特別研究員(DC1)への採用または本学位プログラムの早期修了が見込まれる人材を選抜します。	一定の研究力およびその他の能力を備え、標準年限での修了が見込まれる人材を選抜します。	研究力その他の能力に加え、社会人としての実績や経験を評価します。	一定の研究力およびその他の能力を備え、標準年限での修了が見込まれる人材を選抜します。	研究力その他の能力に加え、社会人としての実績や経験を評価します。
募集人員	若干名	10名	2名	2名+若干名	2名+若干名
合計	16名				

アクセス・お問い合わせ

○ 学位プログラムまでのアクセス

筑波キャンパスは、東京の北東 60 キロ、筑波研究学園都市の中央部に位置しています。

258 ha の敷地には、全体として森林公園を基礎とした景観の中に、変化に富んだ斬新なデザインの施設がそれぞれ効率的に配置され、ペDESTリアンと環状道路等で機能的に結ばれています。これらの施設は、内外の学術交流、市民の教養活動、社会体育行事などにも利用されています。まずは 3L棟 3階 308号室（学位プログラム事務室）までお越し下さい。

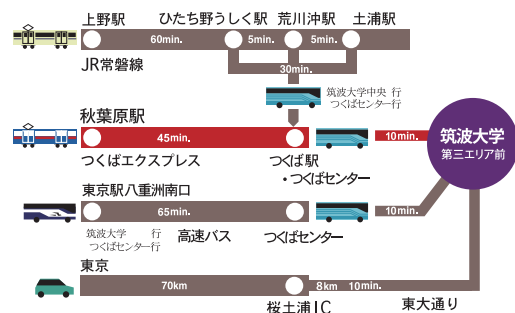
知能機能システム学位プログラムに所属する教員の研究室・実験室は、筑波大学筑波キャンパス（中地区）の第三エリアに位置しております。下図右はつくば研究学園都市中心部、左図は第三エリアの拡大図になります。

○ お問い合わせ

筑波大学 大学院 システム情報工学研究群
 知能機能システム学位プログラム
 〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1
 tel: 029-853-6470 fax: 029-853-6471
 email: koho@imis.tsukuba.ac.jp



○ 所要時間



※来客用駐車場の御案内
 第三エリアへ車でお越しの方は、ゲート手前の外来者用駐車場をお使い下さい。
 なお、ご利用の際は、必ず3F棟1階守衛室にて駐車場利用の受付を行って下さい。